

会 議 名	港区介護予防個別支援システム開発設定等委託 第3回事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年1月8日（水曜日）午前9時50分から午前11時15分まで
開催場所	港区役所9階 913会議室
委 員	保健福祉支援部長 新宮 弘章（委員長） 高齢者支援課長 白石 直也（副委員長） 赤坂地区総合支所管理課長 山越 恒慶（委員） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 中林 淳一（委員）
事 務 局	高齢者支援課介護予防推進係
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	[席上配付] ・ 次第 ・ 資料1 第二次審査実施概【紙面有】 ・ 資料2 第二次審査採点基準表 ・ 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布） ・ 資料4 第1回選考委員会議事録概要 ・ 資料5 第2回選考委員会議事録概要 ・ 参考資料1 第一次審査集計結果 ・ 参考資料2 事業候補者選考基準 ・ 参考資料3 仕様書（案）
会議の内容	

委員長	【1 開会】 (委員長より開会の挨拶)
事務局	【2 第二次審査実施概要について】 (事務局より資料1、2及び3について説明)
	【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 (A事業者による説明)
	(質疑応答)
A委員	シンプルで分かりやすいが、多くの職層の人間がシステムを利用する中で、ミスなく円滑な操作につながり、またその操作を補助できるチェック機能等はあるか。
A事業者	例えば入力時に、日付を入力する際、カレンダーから選択する等の機能がある。また、必須の入力項目については、テキストボックスの背景色を変える等の工夫をしている。加えて、データ削除時の確認メッセージを2回表示するなどの二重確認機能も備えている。
A委員	例えば、非現実的な数値を入力した時に表示される警告機能はあるか。
A事業者	警告機能は今後付与する予定である。
A委員	承知した。また、職員が使う上で、業務の効率化につながる部分として、アピールしたい内容はどのような点か。
A事業者	まず、過去のデータを複写する機能がある。この機能は過去のデータを参考にしたい時に役立つ。 次に、分析機能では、保有データをもとにグラフ化して分析することが可能だ。一般的には、データを提供し、職員の皆様に分析していただくBIツールが主流だが、職員が分析するのは負担だと考える。そのため、未加工データを提供するのではなく、分析しやすいグループ化されたデータを提示することで、より分析しやすく、職員の省力化を実現する。
A委員	企画提案書に、「Trend Micro Apex One」が必要との記載があったが、このソフトの機能及び強みについて教えていただきたい。

A事業者	一番の強みは、リアルタイム検索に有効的な点だと考える。例えば、職員が誤って USB 等を差し込んでしまった瞬間にセキュリティソフトが即座に反応し、警告を表示することで、リアルタイムでの対応を行うことができる。セキュリティリスクを未然に防ぐために非常に有効である。
A委員	リアルタイム検索に有効であるためこのソフトが必要だ、ということで相違ないか。
A事業者	はい。「Trend Micro Apex One」のリアルタイム検索ソフトは、定時の検索にも有効であり、この2つの機能を兼ね備えているため推奨しているが、絶対にこれではいけないわけではない。そのため、予算等との兼ね合いで、応相談事項と考えている。
A委員	VPN や情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証以外に、被害の最小化（データ損失）のために実行する対策があれば教えていただきたい。
A事業者	最も大切なのはバックアップ対策だと考えている。サーバー以外のデータを7世代分、別の場所で管理する予定である。データベースを冗長化することも可能であるが、費用対効果を考慮すると、バックアップ対策で十分だと考えている。
A委員	承知した。
B委員	システムの開発から運用開始までの具体的な体制について、人数やその役割分担について教えていただきたい。
A事業者	プロジェクトの総責任者、管理者、本社開発メンバー4人と東京支社2人の体制を予定している。本社で開発全般を担うが、東京支社でもそのサポートと機器の配布や現地確認等を行う予定だ。
B委員	開発は基本的に本社で行うが東京支社との協力体制があるためサポートは十分だということか。例えば、サーバーを区役所に設置して、端末とサーバーを結ぶ閉鎖的なシステムである分セキュリティ面では安心感があるが、不具合が生じた時は、問い合わせ窓口はどこがどのように対応するのか。
A事業者	仕様書に記載されているサポート時間については、ヘルプデスクへ電話での問い合わせが可能であり、現地対応が必要な場合は、本社から東京支所へ指示し、担当者を派遣する。サポート部署では、ウェブフォームを開設して

	おり、土日でも担当者へメールが送信される。ただ、サーバーが区役所内にあるため、サーバー内で作業が必要な場合については、週明けの対応となる。
B 委員	承知した。システムの不具合時に、どこに連絡するかといった操作等の説明については、マニュアル等を提供していただけるのか。
A 事業者	管理者向けに提供する。また、毎年度、初任者研修を年一回行う予定のため、その研修を活用して周知することも可能である。
C 委員	事前事後の入力について、プログラムの追加・削除が容易にできるということは、職員レベルで可能なのか。
A 事業者	職員の手を介さず、弊社の保守で対応する。プログラムの入替ではなく、弊社がマスタを追加すれば、対応可能である。
C 委員	フィードバック帳票も容易に出力可能なこの操作は、一般職員でも簡単にできるものなのか。
A 事業者	はい。可能である。
C 委員	分析が容易にできるというのは、5 回イス立ち座りや握力などの体力測定項目等の効果分析のことを指しているのか。
A 事業者	はい、項目別のデータ分析も可能な他、区で統一されたプログラムを地区別で各事業者が実施しており、事業者別に比較すれば、「プログラム別に最も効果が出た事業者はどこか」等の分析結果も得られ、その事業者の実施方法を学ぶ等の活用が可能である。
C 委員	港区でいくつか実施しているプログラムを事業者別に効果分析することが可能であることは理解した。ちなみに、個人へのアプローチ分析や提案は可能か。
A 事業者	個人に対してデータを基に、改善案や参加プログラム推奨等の個別の自動提案を行う機能について、現在はない。
C 委員	今後を見越して、何か機能追加を検討しているか。
A 事業者	港区でケアマネジメント表を作成している参加者は、「状態の把握及び実

	施事業、その後の結果」が把握できるため、そのデータをもとにA Iを活用し、測定結果や基本チェックリストの傾向等から個別の自動提案が可能になると考えている。
C 委員	承知した。また、プログラムごとの握力などの体力測定項目の追加・削除が容易であるとのことだが、身長・体重・BMI 以外に、血圧や体脂肪率などの項目を追加することも容易であるか。
A 事業者	今後、その機能を追加してバージョンアップを実施予定である。
D 委員	システムの開発中にトラブルがあれば、規模の大小によって納期や費用等に変動リスクがあると考えられるが、開発中のトラブルについてデータ復旧をどうするか伺いたい。
A 事業者	仕様書の変更や手戻り等も考えられるが、ソース管理（履歴管理）を行っているため、開発体制は安全に管理できる。また、自社開発のシステムでありほぼ自社内で開発しているため、適宜データベースのバックアップを取得しながら進行可能なため、開発中の万一のトラブルについても安心していただきたい。
D 委員	外注部分が少なく、ねじれなくスムーズに対応可能な旨、承知した。
E 委員	総括して、どこがバージョンアップされるかを端的に述べてほしい。
A 事業者	具体的な機能というより、今後プログラムが変更された際の対応や、港区が力を入れている分析・フィードバックの内容に変更が生じた際の対応について、港区の意向に沿って柔軟に対応できるよう、将来を見据えた基盤構築に努める。
E 委員	御社内に健康や医療に知見を持つ人物は在籍しているのか。
A 事業者	医療部門は同じ事業部内に併設されている。
E 委員	承知した。 ～質問A事業者終了～ 【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】

委員長	評価した点数をもとに、各委員から講評をいただきたい。
A 委員	まず、複数要素のクロス集計が可能だと理解し、介護予防事業の実施だけでなく、その効果分析に対する必要性への理解度が高いと評価した。さらに、A I を活用する今後の展望に言及する等、意欲も高いと感じた。また、総括責任者、業務担当者、本社 4 名及び東京支社 2 名による開発体制が整っており、提案の実現性は高いと評価した。プログラム変更も職員の労力を要さず、保守委託の中で項目の追加が可能で、分析やフィードバックの変更にも柔軟に対応できる発展性にも期待できる。質問への回答に当たっては、誠実な対応だと評価した。
B 委員	港区のシステム活用の主旨として、区が区民へのフィードバックを重視していることを理解しており、業務効率化と併せて分析にも力を入れているシステムである点は高く評価できる。提案の実現性は、標準レベルと判断したが、質疑応答の中で、具体的な体制内容について確認がとれて安心できた。また、毎年度初任者向け研修を行うなど、細かなサポート内容が期待できる。
C 委員	システムの業務主旨の理解については、説明も分かりやすく、深い理解が十分に示されていた。また、データ分析については区と同じ考えでいることや利用者への還元側面から、良い提案である。利用者や区の要望、今後の取組について、意欲的に対応しようという前向きな姿勢が伝わったのが非常に好感を持てた。また、東京支社があり、機敏なサポート体制があることを考慮し、高評価をつけた。
D 委員	施設職員の操作性と利用者向け分析結果の活用法及び新たなニーズの発生にも備え、仕様変更の要望やプログラム内容の変更が多々ある行政の事情も踏まえたシステム構築、カスタマイズの方法がよく検討されていて評価できる。また、開発中のトラブル対応についても十分な説明があり、安心できる。サポートも含めて自社開発である点も強みと感じた。
E 委員	説明担当者の、質疑に対応する姿勢に誠実さ、またその内容の熟知度についても評価できる。また、機能の追加部分は少なくとも、システムの基盤そのものの柔軟性を上げていく対応をすることだったため、将来的にも、長い目でシステムの開発・運用を任せられると感じた。経費面も含めて、期待したい。
委員長	他の委員の意見を踏まえて、結果は提示のとおりで良いか。 (委員一同、異議なし)

事務局	それでは集計の結果、一次及び二次審査ともに基準を満たしていることを確認した。
委員長	この結果を踏まえて、A事業者を事業候補者として選定してよろしいか。 (委員一同、異議なし)
委員長	それでは、A事業者を事業候補者として選定する。 【6 閉会】 (事務連絡、委員長より閉会の挨拶)